

臨時国会閉会(12/5)

コロナ対策 責任放棄、疑惑隠しの菅首相

感染抑止、疑惑解明求め
国会会期延長要求
野党4党

菅政権は、無為無策の「コロナ対策」で感染拡大・国民の命の危険を拡大しています。

違憲・違法の学術会議任命拒否、安倍前首相の桜を見る会の前夜祭の費用補填疑惑と度重なる虚偽答弁、元農水相の贈収賄疑惑の真相究明、感染抑止の抜本的な対策が急がれている中、政権与党は臨時国会閉会を強行しました。



野党書記局長・幹事長会談。右から吉田（社民）、小池（共産）、福山（立憲）、榛葉（国民）＝12月3日、国会内

菅政権の逃げ切り許さず市民と野党の共闘強化

日本共産党と立憲民主党、国民民主党、社会民主党は、新型コロナ特措法の改正、28日迄の会期延長動議を共

同提出しましたが、自民・公明など与党はこれらを多数で拒否しコロナ対策や疑惑解明に背を向けました。

国民の命を守り、学術会議任命拒否撤回を

共産党国会議員団総会（12月4日）で、志位和夫委員長は「コロナ対策をないがしろにし、疑惑隠しをはかる閉会」と批判。新型コロナから国民の命を守る取り組みや、日本学術会議の任命拒否撤回を勝ち取るたたかいに全力をあげようと述べました。

今臨時国会で野党はコロナ対策、安倍前首相による「さくらを見る会」前夜祭の費用補填疑惑、吉川元農水相の贈収賄疑惑解明などで共闘しました。臨時国会閉会後も一層市民と野党の共闘を強化して奮闘します。

安倍前首相虚偽答弁の真相を明らかにせよ

「桜を見る会」前夜祭で多額の費用を補填していたことを安倍氏側が認めました。安倍首相は国会で「補填は全くない」と繰り返して否定していたことが虚偽答弁に当たり、国会は安倍氏を証人喚問し、真相を明らかにする必要があります。

あります。また、当時官房長官として安倍氏の主張に沿った答弁を重ねてきた菅首相の責任も問われています。国会での虚偽答弁が放置されれば国会審議が成り立たず、議会制民主主義の破壊につながります。

とどまらぬ自民の政治とカネ疑惑

昨年夏の参院選を巡り河井案里議員の選挙の際、1億5000万円にも上る資金を提供した自民党本部の責

任は重大です。大型買収資金の大半は税金である政党助成金、当時の安倍首相や菅官房長官は、資金提供だけでなく選挙応援に駆けつけました。

新たに自民党重鎮の元農水相が、大手鶏卵生産会社から複数回にわたり現金を受け取っていた疑惑が浮上し、「裏金で政策がゆがめられた疑惑」と、河合事件とともに疑惑解明が求められています。



元琉球大学教授太田昭臣さんを迎え学術会議任命拒否の本質を学び、学問の自由を守ろうと学習集会11月20日、取手市内戦争させない・9条壊すな！総がかり取手行動主催

75歳以上医療窓口「2割」国民世論で先送り



医療費窓口2割負担ストップの署名を呼び掛ける座り込み行動参加者＝12月4日、東京・霞が関

菅政権は、2022年度から75歳以上の後期高齢者医療費の窓口負担、現行の1割を一部2割に引き上げる方針です。

政府は、引き上げ実施の具体案を12月4日に決定する予定でした。新型コロナウイルスで健康への不安が高まる中で、高齢

者の受診抑制につながる2割負担導入について、「コロナ禍の今やることか」など、医療団体や高齢者団体などから厳しい批判が広がりました。与党内からも先送りを求める意見もあり政府は、結論の先送りに追い込まれたものです。



12月(11/30~12/10)コロナ感染防止・子どもと地域を守れ 定例市議会 市政に民主主義回復を日本共産党

第3波のコロナ感染が広がる中での12月定例市議会は、会期を短縮し一般質問も30分に短縮、委員会はオンラインを活用しての開催。公立戸頭北保育所廃止、存続の可否について、児童・生徒1台のパソコン購入に関する契約、補正予算、放課後子どもクラブの運営変更。その他請願・意見書など審議し10日に閉会。



「コロナ禍」の中、市民のいのちと健康を守る支援制度を！

小池えつ子

取手市を含め県内でも感染者が拡大する状況下で、国や県の指示待ちでなく、市民のいのちと健康を守る、市独自の検査等への助成制度を強く求めましたが、市は「国の指針、県や医師の指導を仰ぎながら全面的に対策に取り組む」と後ろ向き答弁。

またこの間、市が災害時に使うと説明し続けた国保基金を、私は「今まさにコロナ災害の中

で使うべき！22億円の国保基金を高すぎる国保税引き下げに！」と求めたが、市は「引き下げには使わない」と繰り返しの答弁。

さらに子育て安心の取手へ18歳までの医療費完全無料化を要求しましたが、市は「医療費増加を抑えるために一定の負担は必要」とさらに残念な答弁でした。



市民の声を生かした市政運営に改めよ

遠山ちえ子

防犯灯や道路新設に対し、地元市政協力員を通ずとしていたり、せっかくのアンケートやパブリックコメントは「参考にする」として生かされず。

今回の戸頭北保育所問題でも廃止ありきで進めている感を受けています。公共交通空白地域の解消へ「乗合タクシー」

導入の提案に、市は「日立市の山間地域を視察してきた」との答弁。「それよりも高須住民の声を聴きに行くべき！」と強く訴えました。「総合計画で明記しているように、市民と行政の連携が一層重要」との答弁に「行動で示していただきたい」と、ただしました。

山王小学校・小規模特認校へ令和3年度スタート

市立小中学校適正配置基本計画(2009年)に基づき進められた統廃合で、中学校2校と小学校4校が廃校になりました。その中で当時最も児童の少ない山王小学校は住民運動で存続しました。

統廃合は「子どもの教育に悪影響、地域と取手市の衰退と人口減少に拍車がかかる」と指摘されてきました。

市内の小学校児童数は、当時から917人減少し現在4

523人、山王小学校の児童は、74人から60人に減少しました。山王小学校は、小規模特認校として特色ある新しい学校教育へ市内より広く児童を募集し令和3年度からスタートします。



小規模認定校を予定する山王小学校

署名7000人 公立戸頭北保育所存続願う



戸頭北保育所
存続が求められる駅に近い

戸頭北保育所存続を願う会と子どもと教育を守る取手市民ネットワークの署名運動に、地元戸頭はもとより、市内各地に公立戸頭北保育所守れの声は大きく広がり、会に寄せられた署名は7000筆を超えました。

保育所存続を求める市民請願と市長の保育所廃止条例の審議結果は10日最終日。



保育所と子どもを守るこそ未来への重点投資

関戸 勇

市議会初日、公立戸頭北保育所の存続を求める請願の趣旨説明をしました。

自民議員から「改修工事のための費用をどう考えるか」との質疑に「市の4億6千万の内容は不明、市が建て替えをやろうと決めればできる」と答え。自民議員は「未来を担う子どもたちのため、予算を北保育所の建

て替えるのか、それとも別の形で使うのはどうか」との問いに「戸頭には2カ所公立保育所があった。今回で全て無くすもの、地域では理解できない」「コロナ感染が拡大する中、重点事業など予算の使い方を再検討し、市民の暮らしや子育てに使うべき」と答えました。

11/30 議会全員協議会

市議会の議決事項ではありません。

給食費値上げ？ ありえないでしょ

市は、今年10月の「給食費月額200円の値上げ相当」との給食運営協議会の答申を受け、「令和3年度から答申通りの値上げを予定」と報告。市民は「コロナ禍」での健康不安と自粛要請で生活・営業困難な事態の中、学校給食は値上げどころか値

下げすべきです。給食費値上げは、全国に広がる無料化や負担軽減の動きにも逆らい「コロナ禍」に乗じて、公立保育所廃止を進めるのと同じ、市長の子どもと市民への愛情を感じられないものです。

議会傍聴記 トイレのない児童クラブ室に驚き

12月4日、藤代小学校学童トイレ設置に関する請願を審議した総務文教常任委員会を傍聴しました。

クラブ室にトイレがなく、学童は職員に付き添われ隣の体育館を使用、ガードマン

も配置されているとのこと。生活の場に必須のトイレがない？10年も前に請願も採択されているのに。人権感覚も無く、子どもに冷たい市政を強く感じた傍聴でした。

(白山在住傍聴者)